

令和6年度 感染性医療(産業)廃棄物等の収集・運搬・処理業務委託仕様書

- ① 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係法令を遵守し、沖縄県立北部病院(以下「甲」という。)が排出する医療廃棄物について、受託者(以下「乙」という。)は適正な管理を行い、円滑に収集・運搬・処理業務を実施すること。
- ② 収集は週3回(年間 157 回)とし、甲が指定した集積場所から運搬するものとする。尚、収集については、午前 8 時 30 分～午後 5 時までに行うことを原則とするが、廃棄物の発生量が多く、梱包容器等が集積場所に収集しきれないとき等は、随時、甲の指示により処理すること。
- ③ 収集の際は、取り残しのないように完全に処理すること。
- ④ 収集車の甲構内乗り入れについては、事故防止に留意するとともに、乗り入れ経路については甲の指示に従うこと。
- ⑤ 胎盤は感染性医療廃棄物の取扱とし、甲が指定した場所から運搬するものとする。
- ⑥ ホルマリン漬けの検体、及び離島診療所から排出する検査溶液等の処理も含む。
- ⑦ 甲及び乙は、電子マニフェストシステムを利用するものとする。
乙は、産業廃棄物収集運搬、処理業務がそれぞれ終了した後、速やかに電子マニフェストシステムの処理を行うこと。
- ⑧ 排出事業所が病院であることを十分に認識すると共に、構内において車両による汚損、産業廃棄物の飛散等及び、公序良俗に反する行為を行ってはならない。また、産業廃棄物の飛散等により甲の施設へ汚損又は損壊を与えた場合は、全て受注者の負担にて損害を賠償しなければならない
- ⑨ 令和2年度～令和5年度の医療廃棄物排出状況は以下のとおり。

	感染性医療廃棄物	非感染性医療廃棄物	キシレン
令和2年度	51,270	38,810	225
令和3年度	64,297	41,500	195
令和4年度	74,750	43,030	200
令和5年度(見込)	67,200	50,000	190
- ⑩ 令和 5 年度の見込排出数量を予定数量とする。尚、予定数量は見込みであり、収集・運搬を約束する数量ではない。
- ⑪ 本仕様書に定めのない事項は、甲・乙協議して決定するものとする。